



けんこう

健康だより

がつごう

7月号



2016.7.1発行
かんのん町保育園

暑い日が続くようになり、熱中症が心配な時期となりました。体が暑さに慣れていない梅雨明けや急激に気温が上がった日は特に注意が必要です。普段からの外遊びで体を鍛え、喉がかわいていなくても水分をこまめに摂取するように園としても行っていきます。

プールOK? チェックリスト!

子どもたちの大好きなプール。元気に楽しくあそべるよう、毎朝の体調チェックをお願いします。

□ 熱は何度ですか?

平熱は子どもによって違うので、ふだんの平熱を考慮して判断します。

□ 食欲はありますか?

□ 前日、よく眠れましたか?

□ 目やにや充血はありますか?

朝だけの目やには心配ないことが多いのですが、風間も目やにや充血が見られるようなら、結膜炎のおそれもあります。ものもらいがある時はプールに入れません。

□ せき・鼻水は出ていませんか?

食欲がない、発熱などの全身症状がなければ、基本的には心配ありません。

□ 皮膚に異常はありますか?

傷やただれがあって乾燥していない場合は、プールは避けたほうが良いでしょう。絆創膏や貼り薬などはプール前にはずしてください。水いぼがある場合は川崎市の指導により、皮膚科に受診をしていただくようお願いしています。取りきれない水いぼがある場合は、衣類(長袖のTシャツ・スパッツなど)やラッシュガードなどで覆うようにしてください。

プールのカードの記入を
忘れずに。少しでも
心配な点がある場合
は、直接保育者にご相談
ください。



夏に多い感染症

ヘルパンギーナ

突然の高熱と喉の痛み、口の中の水泡、口内炎が特徴です。症状が軽ければ1~4日くらいで解熱します。



プール熱(咽頭結膜熱)

プールで感染することもあり、高熱が3~5日くらい続き、喉の痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状もでます。

手足口病

手の平、足の裏、口の中に水泡ができ、発熱することもあります。



流行性角結膜炎

目が腫れ、充血し、普段より多く目やにや涙がでます。



《6月23日歯科健診が終わりました。》受診数109名

●虫歯12名

●不正咬合(過蓋咬合、反対咬合、交叉咬合を含む)30名

●過蓋咬合21名

●反対咬合4名

●交叉咬合5名

●白濁・歯垢5名

今年も歯科健診にご協力いただき、ありがとうございました。虫歯数は12名という結果になりました。ご家庭での仕上げ磨きの成果が出ているように思います。これからも継続して行えるようにしましょう。また、参加できなかった方は7月中に小林歯科医院に受診してください。健診用紙を持参していただきたいので、事前に事務所に取りに来てください。よろしく願いいたします。



～6月の感染症情報～

溶連菌感染症	2名
りんご病	3名
ヘルパンギーナ	7名
手足口病	1名
肺炎	1名

～不正咬合ってなんでしょ？～

上下の歯が適切に噛み合っていない状態をいいます。噛み合わせが悪いと噛む力が弱くなり、消化が悪くなったり顔色にも影響を及ぼすことがあります。また、歯並びが悪いと歯と歯の隙間から空気が漏れる等によって正しく発音することが困難になることもあります。

＝過蓋咬合＝

過蓋咬合とは、上の前歯が下の前歯に深く咬み合わさっているものです。下の歯が全く見えないくらいに噛み合わせが深い例もあります。硬い物、りんごやきゅうりやするめなどを噛んで、噛む力を鍛えましょう。

＝反対咬合＝

下の歯が上の歯より前に出ている咬み合わせを反対咬合(受け口)といいます。受け口の方は、食べ物がよく噛めないだけでなく聞き取りにくい話し方になります。

＝交叉咬合＝

交叉咬合とは、左右いずれかの奥歯または前歯が横にずれている咬み合わせのことです。指しゃぶりが長く続いた場合などによく見受けられます。